

専攻名	創造技術専攻	必修・選択	必修	単位	6	学期	3Q、4Q
科目群	イノベーションデザイン 特別演習	科目名	イノベーションデザイン特別演習 2			教員名	専攻全教員
		(英文表記)	Advanced Exercises: Innovation for Design and Engineering 2				

概 要	<p>PBL(Project Based Learning)を実施する。</p> <p>PBLプロジェクトは1年を通して設計するが、単位は前期、後期に分けて成績をつける。</p> <p>イノベーションデザイン特別演習 2 は (3Q、4Q) に実施する。</p> <p>内容は、別途配布する「PBL プロジェクト説明書」を参照のこと。</p>					
目的・狙い	<p>入学時に有している知識に加え、1年次に修得した知識を応用して、企業や組織での実業務を実施できる「ものづくり人材」（商品企画責任者と開発責任者の職能を兼ね備え、商品企画の提案から製品設計、製造にいたるプロダクトサイクルを統括してマネジメントできる人材）を育成する。ものづくり人材に期待されるコンピテンシーを、プロジェクト活動を通じて身に付ける。</p> <p>専門職大学院大学にふさわしいスキル・コンピテンシーを修得する。</p>					
前提知識 (履修条件)	イノベーションデザイン特別演習 1 を履修していること。					
到達目標	上位到達目標					
	レベル 5					
	商品企画の提案から製品設計、製造にいたる様々な業務を単独で行うことができ、かつ関係者を指導できる。					
	最低到達目標					
	レベル 3					
	商品企画の提案から製品設計、製造にいたる業務を自身の専門領域を中心に単独で行うことができる。					
授業の形態	「PBL プロジェクト説明書」を参照。					
授業外の学習	「PBL プロジェクト説明書」を参照。					
授業の内容	「PBL プロジェクト説明書」を参照。					
成績評価	<p>Self Assessment の記載をベースに、週報、成果物、活動実績を参照して、総合判断する。</p> <p>プロジェクトごとの評価尺度は「PBL プロジェクト説明書」の記述に基づく。</p> <p>主担等教員と、2 人の副担当教員で成績案を作成し、全教員による PBL 成績判定会議で審議し確定する。</p>					
教科書・教材	「PBL プロジェクト説明書」を参照。					
参考図書	「PBL プロジェクト説明書」を参照。					